

2025 年度 学びの杜・学術コース

— 学問の世界を知り、創造的な学びの力をきたえる —

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とする研究者たちが、各学問領域における物の見方・考え方やこれまでの研究成果をわかりやすく解説する、本格的な学術講座です。大学レベルの高度な「学び」を体験することで、知の探究のたのしさや厳しさにふれるとともに、自分自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつなげてください。みなさんの参加をお待ちしています。



<注意事項>

- ・ 参加費は無料です。
- ・ 高等学校・高等専門学校の生徒であれば誰でも参加できます。
- ・ 会場は「鶴舞キャンパス」と記載のあるもの以外、すべて東山キャンパスの施設です。詳しい場所は参加者にのみ連絡します。
- ・ 条件を満たした参加者には証明書が発行されます。
 - 事前・事後アンケート（オンライン実施）と、受講記録（受講時に用紙に記入）の提出は、すべての参加者の義務です。提出した受講記録は後日、証明書とともに返却されます。
 - 1 コマを 90 分とし、10 コマ以上に出席した参加者には名古屋大学大学院教育発達科学研究科長による修了証を授与します。出席が 10 コマに満たない場合は高大接続研究センターによる受講証明書を発行します。
 - 申込者数が定員を超過した講義は抽選になります。その際、10 コマ以上の出席を目指す生徒が優先される場合があります。
- ・ センターからの連絡（当日の持ち物、会場の詳細や緊急のお知らせ）は受講者のみに対しメールで行います。定期的に受信メールを確認してください。
- ・ 受講をキャンセル・欠席する場合は、必ず電話またはメールで事前に連絡してください。
- ・ 以前は会場に遅刻している生徒の保護者に確認の電話をしていましたが、今回はご連絡はいたしません。暑さ対策に留意するとともに、保護者・生徒間で事前に話し合い、道中で体調不良になった場合に安全を確保できるようにしておいてください。
- ・ 当日会場で記録用・広報用に写真を撮影することがあります。参加者の顔は写しませんが、後ろ姿や手元が写ることがあります。不安な方は写り込まないよう配慮しますので、スタッフにお声がけください。

<申し込み方法>

- ・ 申し込みは高大接続研究センター Web サイトの専用フォームで受け付けます。
- ・ 申し込みの締め切りは 7 月 12 日（土）23:59 です。（二次募集を行う場合があります。）
- ・ 抽選結果は後日メールでお伝えします。7 月 15 日（火）までに抽選結果の連絡がない場合は、迷惑メールボックスに振り分けられていないかをご確認の上、お問い合わせください。

<問い合わせ先>

名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター

担当：高橋まりな 特任助教 takahashi.marina.r9@f.mail.nagoya-u.ac.jp

「学びの杜」業務専用電話：090-7312-2392（2025 年 8 月末まで有効）

申込ページへは右の QR コードからアクセスできます ▶



人文学探究講座

申込コード HU-01	7月21日(月) 13:00-14:30	定員：30名 会場：教育学部	「ワンワン」から考える人間の言語 秋田 喜美（認知・心理言語学）
人間はどのようにして言語という大発明を成し遂げたのでしょうか？ 本講義では、子ども染みた表現と思われがちなオノマトペ（擬音語・擬態語）を出発点とした言語起源論を、最新の言語学・認知科学の知見を踏まえつつ考えてみます。			

申込コード HU-02	8月7日(木) 13:00-14:30	定員：30名 会場：教育学部	家庭料理本にみる「時間危機」とジェンダー 長山 智香子（文化研究・ジェンダー学）
経済競争の激化に伴い、企業的な能率に基づいた時間のリズムが企業以外の人々の活動にも応用され、生産性やマネージメントの概念が強調されています。数食分のおかずをまとめて調理し冷蔵庫や冷凍庫に保存するという「作り置き」の流行もこの一例ではないでしょうか。料理本のページをめくりながら、それがどのように女性を担い手として時間と空間の管理を推し進めようとするのか、一緒に考えてみましょう。			

申込コード HU-03	8月22日(金) 10:30-12:00	定員：30名 会場：文学部	書物からみる日本古典文学 加藤 弓枝（日本近世文学）
教科書にはさまざまな古典文学作品が掲載されていますが、それらの作品が、どのような書物に収められ、どのように読まれてきたのかに触れる機会は多くありません。実は、書物にもヒエラルキーがあり、どのような形式や体裁で作品が伝えられてきたかを見ることで、その作品の評価や受容の変遷が浮かび上がってきます。この授業では、前近代に刊行された実際の書物を手に取りながら、日本古典文学を「書物」という視点から読み直していきます。本文の変化や装訂の違いに注目することで、古典文学の新たな魅力と奥深さを発見してみましょう。			

教育発達科学探究講座

申込コード ED-01	7月28日(月) 14:45-16:15	定員：30名 会場：教育学部	世界から見た日本の教育——「教える」と「学ぶ」の本質とは？ 草薨 佳奈子（教師教育学）
近年、日本の教育モデルが海外から注目を集めています。一体何が評価され、どのように受け止められているのでしょうか。また、世界の子どもたちはどのような授業を受け、どんな学びを経験しているのでしょうか。この講義では、比較教育学の視点から世界の授業と日本の教育を比較し、「教育とは何か」「学びとはどうあるべきか」といった問いに向き合います。			

申込コード ED-02	7月30日(水) 8:45-10:15	定員：30名 会場：教育学部	多文化共生社会をデザインする 松本 麻人（比較教育学）
グローバル化の進展に伴い、私たちの身近でも異文化に接する機会が増えて久しくなりました。一方、海外に目を転じてみると、移民問題など、多文化社会における様々な葛藤に関するニュースもよく耳にするようになりました。日本国内でも、政府の外国人労働者受け入れ拡大、留学生受け入れ拡大政策により、今後ますます、多様な文化に触れることが多くなると予想されます。こうした新たな局面を迎える中、多文化共生の実現のために、教育分野ではどのようなことがなされるのか、考えてみたいと思います。			

申込コード ED-03	8月4日(月) 14:45-16:15	定員：30名 会場：教育学部	子どもの権利と尊厳を探究しよう 石井 拓児（教育行政学）
人は生まれながらにして尊厳と権利を持っています。生まれたばかりの子どものにも当然尊厳と権利がありますが、国連で「子どもの権利条約」が採択されたのは1989年であり、まだまだ誕生したばかりの新しい権利です。条約の理念を学びつつ、これから私たちが「子どもの権利と尊厳」をどのようにして探究していけばよいのかをいっしょに考えます。			

申込コード ED-04	8月7日(木) 14:45-16:15	定員：30名 会場：教育学部	児童期の心の問題と支援方法について 金子 一史（臨床心理学）
児童期に心健やかに過ごすことは、その後の人生にとっても大きな意味を持ちます。けれども、中には児童期に心の問題を抱える場合もあります。本講義では、児童期の心の問題とその支援方法について、紹介したいと思います。			

申込コード ED-05	8月26日(火) 10:30-12:00	定員：30名 会場：ComoNe	パーソナリティ心理学：「個性」の科学的探究 山形 伸二（パーソナリティ心理学）
あなたは、どのような性格をしていますか。あなたはなぜそのような性格で、その性格はあなたの将来にどのような影響を与えるのでしょうか。このような、性格などの心理的個人差を科学的に研究する分野を「パーソナリティ心理学」といいます。この講義では、パーソナリティ心理学の主要なトピックを紹介すると同時に、科学的研究とは何か、科学的に考えるとはどういうことかについて考えていきます。ゲーム形式のエクセサイズを行いつつ、あなたがあなたらしく生きる方法について、心理学からのささやかなヒントを提供したいと思います。			

法学探究講座

申込コード LW-01	8月25日(月) 13:00-16:15	定員：30名 会場：法学部	社会生活を支える法システムの成り立ちと弁護士の役割、そして面白さ ～ひとりひとりの意思決定を支援し、解決と納得を手作りする～ 上松 健太郎（弁護士／民事法律関係・民事裁判手続・私人間の紛争解決）
私たちが暮らすこの社会は、たくさんの人がとても上手に協力することで、なんとかうまく機能しています。この人々の協力を支える仕組みのひとつが、法システムです。法システムには、人々が上手に協力するための基準としての役割もあれば、人と人との間に生じた紛争を解決する役割もあります。この講義では、主に人と人との関係での法システム（「民事法」「私法」分野）を取り上げ、法システムの担い手である弁護士などの法律家が、人の暮らしや会社の事業などにどのように関与しているかをお話します。（名古屋大学内の模擬法廷の見学も行います。）			

理学探究講座

申込コード SC-01	7月31日(木) 13:00-16:15	定員：30名 会場：ComoNe	生命現象の出現条件とは？ 星野 洋輔（進化生物学）
生命の誕生は現代科学における最大の未解決問題の一つです。生命の出現にはなんらかの条件が存在することは誰もが想定するところですが、一方で今日の生命の存在領域・形態は、多くの人々がぼんやりと想像するよりもはるかに広大かつ多様です。この講義では、現在わかっている生命の全体像とその進化過程を追跡し、いかなる条件が生命という自然界で最も高度に組織化された存在を生み出したのかを探ります。			
申込コード SC-02	8月1日(金) 10:30-12:00	定員：30名 会場：教育学部	隕石有機物と生命の起源 橋口 未奈子（宇宙化学）
隕石は約46億年前の太陽系誕生時の化石とも言える貴重な石です。隕石からは様々な有機物が見つかっており、これらは地球で最初の生命の材料になったかもしれないと考えられています。この講座では、隕石とはどのようなものか、隕石からどのような有機物が見つまっているのかを学びつつ、生命の起源についてのヒントを考えます。			

工学探究講座

申込コード EG-01	7月25日(金) 10:00-12:00	定員：6名 会場：工学部	光とレーザーについて知ろう 富田 英生（エネルギー・環境計測）
身の回りにある光はエネルギーと密接に関係しています。分光器を使って様々な光源を測定し、その色（スペクトル）を見てみましょう。また、特別な光であるレーザーの特徴と、それを使った原子・分子の測定についてもご説明します。			
申込コード EG-02	7月26日(土) 8:45-12:00	定員：50名 会場：工学部	大学の化学は楽しい！ 分子の世界：知る、見る、触る、作る 石原 一彰（有機化学）
ダイヤモンドは炭素のみからなる非常に硬い鉱物として知られていますが、厳密にはその認識は間違っており、実際には炭素以外の元素も含まれていますし、割ったり磨いたりできなければ宝石のような形状や輝きは生じません。そのなぞを解くために実際に分子模型を使ってダイヤモンドを組み立ててみましょう。身の回りに存在する様々な物質は小さな分子の集まりであり、各々の分子にも形があります。分子の形やそれを構成する元素の種類によって、匂い、味、硬さなどの物性が異なります。そうした違いを分子レベルで学ぶことができれば、今までよりも、毎日がより豊かで楽しいものになるでしょう。分子模型以外にも簡単な化学実験をデモンストレーションできればと計画しています。希望者を対象に、講義後は実験室見学も予定していますので、高校の化学に興味ある人もない人も、是非、参加してください。			
申込コード EG-03	8月6日(水) 13:00-15:00	定員：5名 会場：工学部	顔料プルシアンブルーの多彩な性質 中谷 真人（ナノ材料・ナノ計測・環境発電）
資源・環境問題の解決に貢献することが期待されている最先端物質“ナノ空間材料”について紹介します。ナノ空間材料の一つである“プルシアンブルー”は濃青色の顔料（着色剤）として、古くから利用されてきました。本講座では、プルシアンブルーを合成する（つくる）ことから出発して、プルシアンブルーの薄膜化、薄膜の色を電氣的に変化させる実験などを行い、ナノ空間物質とその応用について学んでもらいます。			
申込コード EG-04	8月27日(水) 8:45-12:00	定員：40名 会場：工学部	創意工夫のオンパレード！電気・電子・情報分野のおもしろい話 須田 淳（電子工学）
小さい頃から電気が大好きで、電子工作、アマチュア無線、ラジコン、シンセサイザー、手作りコンピュータなど、電気電子情報のさまざまな分野に親しんできた須田教授が、電気・電子・情報に関連した身の回りの装置の原理や創意工夫、技術の歴史などについて楽しく解説します。高校で学ぶ物理や化学、数学との関連や、名古屋大学で行われている最先端研究についても言及します。名古屋大学が世界に誇る最先端半導体の研究拠点、エネルギー変換エレクトロニクス実験施設の見学も行います。			

農学探究講座

申込コード AG-01	8月29日(金) 14:45-16:15	定員：30名 会場：農学部	木は見かけによらない？一制度によって変化する森と木の持続可能性－ 岩永 青史（森林政策学・林業経済学）
人は見かけによらないとよく言いますが、木も見かけによりません。持続可能な方法で生産されている木材もあれば、そうでない木材もあります。持続可能な森林管理と木材生産が行われていることを認証し、消費者の購買行動を手助けする「森林認証」という制度があります。この講義では、森林が持つ機能と世界の森林減少について解説し、森林の持続的な管理とそこから生産される木材に関わる制度の意義について考えます。			

医療情報判断力養成講座

申込コード SL-01	7月29日(火) 16:30-18:00	定員：30名 会場：鶴舞キャンパス	似非医学に騙されない！科学リテラシーはじめの一步 ～高校生のための医療情報判断力養成セミナー～ 橋詰 淳・今泉 貴広・半田 朋子・高田 善久（臨床研究教育学）
テレビやSNSにあふれる「〇〇でがんが治った！」「自然療法で副作用ゼロ」——そんな”もっともらしい”言葉に、あなたは騙されていませんか？このセミナーでは、高校生にもわかりやすく科学リテラシーの基本を解説します。「体験談」と「科学的根拠」は全く別物。病気と向き合うとき、感情論ではなく冷静な科学的判断こそが命を守る最強の武器なのです。なぜ人は非科学的な情報に惹かれてしまうのかを紐解きつつ、相関と因果の違い、医療情報の信頼性、メディアリテラシーなど、医療情報の正しい見極め方を学びます。 医療に関する情報があふれる現代社会で、正しい知識と判断力は皆さんの人生を守る盾となります。この講義を通じて、科学的に考える楽しさと大切さを感じてもらえれば幸いです。一緒に「だまされない大人」への第一歩を踏み出しましょう！			

地域医療イノベーション探究講座 ※この講座は必ず2つの講義をセットで受講してください。一方のみに申し込むことはできません。

申込コード CM-01	7月30日(水) 13:00-14:30	定員：15名 会場：鶴舞キャンパス	講座1：地域医療とチーム医療（多職種連携医療）について学ぶ 高橋 徳幸（地域医療教育学・総合診療医学） 末松 三奈（糖尿病・医学教育学）
	チーム医療は、医療安全の観点、患者ケアの質の向上、医療の効率化をはかるために不可欠です。しかしそれだけでなく、チーム医療は少子化および超高齢社会を乗り越える社会モデルとしても位置づけられ、地域医療の現場で推奨されています。本講座では、講義やクイズ、医療者を目指す学生のために開発されたゲームを通して、チーム医療について学びます。		
	7月30日(水) 14:45-16:15	定員：15名 会場：鶴舞キャンパス	講座2：地域医療とプラネタリーヘルスについて学ぶ 佐方 初奈（環境教育学・医学教育学）
	皆さんは地球温暖化、気候変動について何となく知っている・聞いたことがあるかと思います。実はこれらの問題と医療には密接な関係があります。いま地球で起こっていることと医療とのつながりを学び、地域医療ができることを一緒に考えていきたいと思います。		

臨床看護探究講座

申込コード NS-01	8月4日(月) 10:30-12:00	定員：30名 会場：鶴舞キャンパス	あなたの優しさがチカラになる ― 看護の世界を知ってみよう！ 藤井 晃子（副病院長兼看護部長） 寺田 八重子（副看護部長）
看護職の仕事や役割、どんなキャリアがあるのかをわかりやすく紹介します。この他、モデル人形に触れていただき、呼吸の音や検脈も体験してみましょう。看護を通じ社会貢献ができること、人を支えるやりがいと魅力を知ってください。看護職を目指している学生さん、何になるか決まっていなくても人のために何かしたいと思っている学生さん、どなたでも参加可能です！			

医療 VR 探究講座

申込コード XR-01	8月6日(水) 8:45-10:15	定員：15名 会場：鶴舞キャンパス	医療におけるVRを体験しよう 藤原 道隆（消化器外科学，内視鏡外科学） 中西 香企（消化器外科学，内視鏡外科学） 佐藤 七虹（VRシステム，シミュレーション医学） 桜井 麻奈美（VRシステム，シミュレーション医学）
バーチャルリアリティ（VR）技術は、映像を使ったアトラクショナルなイメージが強いと思いますが、業務への活用も進んできています。実用化の歴史が長いのが、教育・トレーニング分野で、ハイリスクの業種である医療においても有用です。また、博物館でのVR導入も進んでいます。実物とバーチャルの組み合わせで相乗効果が得られるからです。名古屋大学メディカルxRセンターはトレーニング機能も持った博物館で、見学と体験をしていただきます。			

創薬科学探究講座

申込コード PS-01	8月20日(水) 10:30-12:00	定員：30名 会場：創薬科学研究所	ヒトの細胞は体から離れても生きられる？ 人見 清隆（創薬科学としての生命科学）
ヒトの体は約37兆個もの細胞から成り立って生命活動ができています。ヒトの体を構成する細胞を対象にして研究するためには、細胞を実験室の中で自在に増やしたり、体の中にある状態を再現したりする実験が必要です。このような実験を細胞培養と言い、生命科学の研究分野では広く行われている基本的な実験のひとつです。どんな操作をすればそれが可能で、どこまで再現することが可能なのか、主に皮膚表皮の細胞を例にしてお話ししたいと思います。なお講義に加えて実験室の見学も行います（できれば上履きをご持参ください）。			

ディープテック・シリアルイノベーション探究講座

申込コード DT-01	7月23日(水) 13:00-16:15	定員：30名 会場：VBL	ホログラムを使って地域通貨を作ってみよう 河野 憲嗣（経営人類学・決済システム） 都竹 千尋（情報通信・ホログラフィ） 岡島 広子（経営学・オペレーションズリサーチ）
お金といえば何を思い浮かべますか？たとえば「お小遣いを増やしてほしい！」でしょうか。ではお金のことをどこまで知っていますか？お金って硬貨やお札のことでしょう？ではQRコードや電子マネーで買い物できるってどういうこと？授業ではお金の新しい可能性を探る取り組みである地域通貨をテーマとして、お金の基本的な仕組みやお金を作る社会の関係性、海外のお金事情などについて学びます。また通貨の偽造防止技術として有名なホログラム技術を学び、実際にホログラムと紙を使ってオリジナルの商品券を作るワークを通じて、お金に関する理解を深めます。			

名古屋大学博物館講座

申込コード MU-01	7月21日(月) 10:30-12:00	定員：25名 会場：教育学部	二枚貝から「中生代の海洋変革」を学ぶ 大路 樹生（古生物学・古生態学）
海に普通に生息している二枚貝、その形態を詳しく観察すると、そこから二枚貝が海の中でどのような生活をしているのか、そして外敵からどのように身を守る術を獲得したのかが分かります。太古の中生代に起こった海洋生物の大事件「中生代の海洋変革」との関連も学びます。			
申込コード MU-02	8月29日(金) 10:30-12:00	定員：25名 会場：名大博物館	超大陸ゴンドワナの謎を追って 20000km ー南極調査の現場からー 東田 和弘（地質学・テクトニクス）
地質学者はなぜ南極を目指したのか？ 普段あまり耳にすることのない、テクトニクス研究の最前線について紹介します。			

歴史文化探究講座

申込コード HC-01	8月5日(火) 10:30-12:00	定員：30名 会場：教育学部	「草原の国」モンゴルの歴史と社会 中村 真咲（憲法史・文化財保護法制）
「草原の国」として知られるモンゴルは、日本人にとっては遊牧や相撲のイメージがありますが、じつは激動の20世紀を通して独立を守り抜いてきた「外交巧者」でもあります。まもなく憲法制定100周年を迎えるモンゴルの歴史と社会を通して、中央ユーラシアの中小国の生き残り戦略について考えてみましょう。			
申込コード HC-02	8月5日(火) 13:00-14:30	定員：30名 会場：教育学部	中部地方内陸文化圏を考える 中村 真咲（憲法史・文化財保護法制）
中部地方には魅力ある城下町が多数残っていますが、それは地域の先人たちの努力によって継承されてきたものです。城・神社・仏閣・武家屋敷・商家などの市街地と祭礼行事・民族芸能・伝統的な生業などの活動を一体として「地域の個性」と捉え、地域の活性化や歴史遺産・伝統芸能の保存・継承につなげていく「歴史まちづくり」について、犬山・美濃・高山を事例に考えてみましょう。			

宇宙物理学探究講座

申込コード PH-01	8月18日(月) 8月20日(水) 8月22日(金) 13:00-16:15	定員：30名 会場：教育学部	アインシュタインの特殊相対性理論を直線と双曲線で理解する 齋田 浩見（重力の理論物理学）
この宇宙そのもの（ブラックホールなども含む）の姿や成り立ちを解明することは、現代物理学の大きな目標の一つです。そして、宇宙を研究し理解していく上で欠かせない物理学の基礎理論の一つが、特殊相対性理論です。特殊相対性理論は、高校1,2年生の数学で理解できますが、重力がない場合の時間と空間の性質を記述する理論です。例えば次のような結論が得られます： ○ 速く運動する人ほど時間がゆっくり進み（時間の遅れ）、その速さが光の速さに近づくほど時間の流れは止まっていく。 ○ 棒が速く運動するほどその長さは短くなり（ローレンツ収縮）、その速さが光の速さに近づくほど棒の長さはゼロに近づいていく。 他にも、光速を超えられない、質量もエネルギーになる、など高校物理の範囲では説明できない自然現象が理解できます。これらを理解するために必要な数学は、直線と双曲線の方程式・グラフです。直線と双曲線も説明しながら、特殊相対性理論の本質を解説します。			

質的研究方法論探究講座

申込コード QR-01	8月21日(木) 8:45-16:15	定員：30名 会場：教育学部	SCAT で質的研究を学ぶ 大谷 尚（質的研究方法論） 高橋 まりな（比較教育学）
みなさんが「科学」の方法として思い浮かべるのは、「仮説」を立て、「測定」によってデータを採り、それを「統計」的に分析し、仮説を「検証」することではないでしょうか？しかしこれらを全く行わない科学的研究があります。それは「観察」や「面接」によって「観察記録」や「面接記録」などの言語的なデータ（質的データ）を採取し、それを質的に分析する研究で、みなさんが想像する「量的研究」に対して「質的研究」と呼ばれています。 この講座では、質的データ分析手法SCATを使って、短いインタビューデータを実際に分析しながら、質的研究の考え方を学びます。データからわかる、データに基づいて主張するとはどういうことなのか、1日かけてじっくり考えてみましょう。			

講義一覧表

講義日	時間	講師	講義タイトル	コード	コマ数
7月21日	10:30-12:00	大路 樹生	二枚貝から「中生代の海洋変革」を学ぶ	MU-01	1
7月21日	13:00-14:30	秋田 喜美	「ワンワン」から考える人間の言語	HU-01	1
7月23日	13:00-16:15	河野 憲嗣 都竹 千尋 岡島 広子	ホログラムを使って地域通貨を作ってみよう	DT-01	2
7月25日	10:00-12:00	富田 英生	光とレーザーについて知ろう	EG-01	1.5
7月26日	8:45-12:00	石原 一彰	大学の化学は楽しい！ 分子の世界：知る、見る、触る、作る	EG-02	2
7月28日	14:45-16:15	草薨 佳奈子	世界から見た日本の教育 ―「教える」と「学ぶ」の本質とは？	ED-01	1
7月29日	16:30-18:00	橘詰 淳 今泉 貴広 半田 朋子 高田 善久	似非医学に騙されない！科学リテラシーははじめの一步 ～高校生のための医療情報判断力養成セミナー～	SL-01	1
7月30日	8:45-10:15	松本 麻人	多文化共生社会をデザインする	ED-02	1
7月30日	13:00-16:15	末松 三奈 高橋 徳幸 佐方 初奈	地域医療とチーム医療（多職種連携医療）について学ぶ 地域医療とプラネタリーヘルスについて学ぶ	CM-01	2
7月31日	13:00-16:15	星野 洋輔	生命現象の出現条件とは？	SC-01	2
8月1日	10:30-12:00	橋口 未奈子	隕石有機物と生命の起源	SC-02	1
8月4日	10:30-12:00	藤井 晃子 寺田 八重子	あなたの優しさがチカラになる ―看護の世界を知ってみよう！	NS-01	1
8月4日	14:45-16:15	石井 拓児	子どもの権利と尊厳を探究しよう	ED-03	1
8月5日	10:30-12:00	中村 真咲	「草原の国」モンゴルの歴史と社会	HC-01	1
8月5日	13:00-14:30	中村 真咲	中部地方内陸文化圏を考える	HC-02	1
8月6日	8:45-10:15	藤原 道隆 中西 香企 佐藤 七虹 桜井 麻奈美	医療における VR を体験しよう	XR-01	1
8月6日	13:00-15:00	中谷 真人	顔料プルシアンブルーの多彩な性質	EG-03	1.5
8月7日	13:00-14:30	長山 智香子	家庭料理本にみる「時間危機」とジェンダー	HU-02	1
8月7日	14:45-16:15	金子 一史	児童期の心の問題と支援方法について	ED-04	1
8月18日 8月20日 8月22日	13:00-16:15	齋田 浩見	アインシュタインの特殊相対性理論を直線と双曲線で理解する	PH-01	6
8月20日	10:30-12:00	人見 清隆	ヒトの細胞は体から離れても生きられる？	PS-01	1
8月21日	8:45-16:15	大谷 尚 高橋 まりな	SCAT で質的研究を学ぶ	QR-1	4
8月22日	10:30-12:00	加藤 弓枝	書物からみる日本古典文学	HU-03	1
8月25日	13:00-16:15	上松 健太郎	社会生活を支える法システムの成り立ちと弁護士の役割、そして面白さ ～ひとりひとりの意思決定を支援し、解決と納得を手作りする～	LW-01	2
8月26日	10:30-12:00	山形 伸二	パーソナリティ心理学：「個性」の科学的探究	ED-05	1
8月27日	8:45-12:00	須田 淳	創意工夫のオンパレード！電気・電子・情報分野のおもしろい話	EG-04	2
8月29日	10:30-12:00	束田 和弘	超大陸ゴンドワナの謎を追って 20000km ―南極調査の現場から―	MU-02	1
8月29日	14:45-16:15	岩永 青史	木は見かけによらない？―制度によって変化する森と木の持続可能性―	AG-01	1